

協会ニュース&トピックス

城北地区大会80名が激戦! 3月1日 菊池市菊池体育センター



試合風景



津田ひかる選手への表彰

今年で9回目となる城北地区テコンドー選手権大会は、城北地区的支部を中心としてオープン参加の県内支部、大学などから83名が出場して開催された。開会式では崇城大学教授であり同テコンドー部の顧問として10年近く活躍された松熊邦浩先生に、樋口悦夫県協会長から感謝状が贈られた。また、2月に東京で開催された全日本選手権大会で女子フイン級2位となった津田ひかる選手、男子フライ級で3位となった中山北斗選手に表彰状と記念品が贈られた。大会は、品勢とキヨルギの2競技が実施され各選手は入賞めざして白熱した試合を展開していた。

春季昇段級審査会 合格めざして102名が受験! 4月5日 熊本県民総合運動公園体育館

今年、最初となる昇段級審査会は、例年通り県民運動公園に県内各支部から102名が参加して実施された。今回はジュニア選手の受験者が多く、基本・移動・品勢などに真剣に取り組んでいた。



春季昇段級審査会の様子

強化練習交流試合に63名参加!

4月26日、阿蘇市体育館に於いて県選手強化委員会主催による強化練習交流試合が行われた。今回は、九州各県からの参加者を募り、福岡、長崎、佐賀、大分、宮崎から多くの選手が参加した。指導は、西村紀幸選手強化委員長を中心に樋口清輝委員が技術指導、午前中は、ジュニア選手も参加しての合同練習会、午後からは、新ルールを適用した練習試合が行われた。参加者のほとんどは、「大変参考になった次回も実施してほしい」との意見が多く、選手間の交流も兼ねた今回の強化練習試合は有意義なものとなつた。当日夕方のテレビニュースでその模様が放送された。



NEWS&TOPICS

※大会結果の詳細はホームページに掲載

◆試合結果(入賞者のみ)

階級	1位	2位	3位
児童の部	野田香音子 川尻 本田 錠輔 阿藤 富田 大翔 阿藤		
小学校男子12年生軽量級の部	森下 札奈 許廣 住 大翔 阿藤 元村 勉哉 川尻		
小学校男子12年生重量級の部	森永 修斗 阿藤 竹田 有男 合志 増田 時音 菊池		
小学校男子3~4年生軽量級の部	松本 和也 阿藤 山本 遼生 八代 大岸 廉央 鈴木		
小学校男子3~4年生重量級の部	徳永 雅樹 許廣 松本 仁 増田 優紀 八代		
小学校男子5~6年生軽量級の部	川越 開斗 川尻 横本 康大 八代 渡辺 雄也 御船		
小学校男子5~6年生重量級の部	坂本 大果 高合 横本 裕太 八代 渡永 大樹 許廣		
小学校女子12年生軽量級の部	光田 優 阿藤 宮田 有紗 菊池 柳原 知奈 八代		
小学校女子12年生重量級の部	本田 瑞子 阿藤 川越 有紗 川尻 田島 悠 許廣		
小学校女子3~4年生軽量級の部	坂田 賢誠 野田 錠輔 増田 真利智 菊池 西村 真利智 阿藤		
中学男子の部	坂田 賢誠 野田 錠輔 川尻		
一般男子ファン級	望月 一馬 崇城大 横山 仁 川尻 堀島 英恵 学園大		
一般男子アマ級	寺本 直樹 水前寺 坂田 優紀 渡辺 実 五年		
一般男子デジタル級	鹿瀬 昭平 学園大 花田 批正 藤本大 松浦 祐典 藤本大		
一般男子デラグレー級	鹿竹 咲実 水前寺 斎木 克臣 藤本大 斎田 浩平 藤本大		
一般男子デュエター上級	野口洋津馬 藤本大 岩谷 裕明 崇城大 シ内 雄太 崇城大		
一般女子の部	本田 浩美 阿藤 江藤 美沙 崇城大		
団体部門	阿蘇道場A 阿蘇道場B 八代道場		
ムンセ 7歳以下の部	大木 伸 阿藤 松本 美優 阿藤 西野 邦子 藤野		
ムンセ 4~6歳の部	鶴見 優香 合志 山木 花緑 合志 木部 真弓 藤野		
ムンセ 3歳以上の部	柳谷 知恵 八代 西村紀幸 阿藤 増田 優紀 八代		
最優秀選手賞	ジュニア 松本 和也 阿藤 一般 望月 一馬 崇城大		

テコンドーくまもと vol.28

TAEKWONDO KUMAMOTO 2009.3 ▶ 2009.5



左から会長、社 正源 総裁、洋田道子、樋口選手

世界テコンドー連盟“趙 正源 総裁” 熊本へようこそ!

4月18日、世界テコンドー連盟 総裁 趙正源（チョウ・ジョンウォン）総裁がプライベートで来熊した。昨年蒲島知事が韓国を訪韓、それに応えての来熊でソウル大学の教授など21名が18日から2泊3日で滞在した。18日は熊本城などを見学し、19日夕方、大分から宿泊地阿蘇市内のホテルへ到着。阿蘇在住の樋口会長、津田理事、樋口清輝選手、津田ひかる選手の4名がホテル前で出迎えた。津田選手から歓迎の花束が贈られ、思つてもみないテコンドー関係者の出迎えに総裁も驚いた様子であった。

20日、阿蘇山などの観察に樋口会長も同行し阿蘇山、阿蘇神社などを案内。阿蘇山ではガス規制もなく火口を見ながら阿蘇の雄大さに感銘していた。

樋口会長は4年前、韓国・順天で開催された第5回世界ジュニア選手権大会に日本選手団監督として訪韓。その際に総裁とは一度面識があり、総裁も樋口会長を覚えていてくれ会長も大変喜んでいた。

一行はショッピングなど終え、夕方の飛行機で韓国へと向かった。



中岳火口前の記念撮影



阿蘇神社での記念撮影

津田ひかる選手・本田涼夏選手 嬉しいV! 4月5日 大阪難波



テコンドーの新しい試みとして北京五輪出場の岡本依子選手がプロデュースするドリーム杯テコンドー大会は、約70名の選手が出場し大阪難波のスポーツ会場で行われた。

県協会からは、2月の全日本選手権で準優勝の津田ひかる選手と昨年の全日本ジュニア選手権準優勝の本田涼夏選手が出場、ワンマッチ形式で試合は行われ、津田、本田の両選手は、ともに勝ってくまもとテコンドーを大きくアピールした。

通常の試合とは違い、プロ格闘イベントK-1風にアレンジされた演出で選手達のモチベーションも上がり、テコンドーのスピーディな攻防に会場に來ていた観客は歓声を上げていた。

左: 津田ひかる選手 右: 本田涼夏選手



発行 熊本県テコンドー協会 / 熊本市南坪井町4-23 MTビル1F TEL&FAX 096-206-1772
ホームページ ► <http://www.kumamoto-taekwondo.jp>
Eメール ► info@kumamoto-taekwondo.jp

※大会結果の詳細はホームページに掲載

宇土支部、鏡支部が体育協会へ加盟承認される!

地域の体育協会への加盟を推進している県テコンドー協会では、今年4月、新たに宇土支部、鏡支部の2支部が宇土市体育協会、八代市鏡町体育協会へそれぞれ加盟承認された。現在、阿蘇支部・不知火支部がそれぞれ体育協会へ加盟しているが、今年2支部が加盟されたことにより、各地区支部の体育協会加盟が進むこととなるだろう。

TBS 地球感動配達人「走れ!ポストマン」に 宇土支部「園田裕文」氏が出演!



番組のコマ

現在、宇土支部で指導している園田裕文氏（32歳）は、父である宇土支部長、熊本県協会理事でもある北斗塾の園田幸二氏より幼少のころから空手道を学び、学生時代に韓国へ留学、韓国の武道「ハッキドー」を学んだ。その後、大田広域市にある韓南大学でテコンドーを学び大学を卒業後、故郷熊本に帰り、会社に通いながらテコンドーの指導をする日々を過ごしていたが、大学当時、彼にテコンドーを教えてくれた「チ・ヨンソク」先生（ソウル五輪：バントム級金メダリスト）が、何らかの理由で音信不通となり今回、園田氏の手紙をタレント「エドはるみ」さんが届ける内容で放送された。チ先生は、コーチ時代にある問題でコーチ資格を失うも、現在、故郷でテコンドーの道場を経営しているとのことで園田氏も一安心。手紙は無事に届いた。

番組は、感動を与えた内容で好評を得た。（5月3日放送）

牧野信一選手 V 望月一馬選手準V!

5月3日 大阪府堺市立大浜体育館

第7回となるWATAオープン大会、WATAとはWorld Action Taekwondo Associationの略で、在日の外国人や留学生などインターナショナルな会員が多いWATA大会には関西地区を中心として多くの選手が出場していた。今回熊本県協会からは、ヘビー級に牧野信一選手（玉名）、初級フライ級で望月一馬選手（崇城大）、の2名の選手が出席、牧野信一選手は決勝でジョヒョンチョル選手（韓国）に競り勝ち初のヘビー級での優勝を飾った。

望月選手は5級以下の部に出場17名の選手で争われたが、順調に勝ち進み準決勝で京都大学の宮崎崇選手に5-3で判定勝ち、決勝は高松西高校の猪熊雅仁選手との対戦となり惜しくも2ポイント差で敗れたが準優勝となった。



亡き故人を偲び「拳武会OBの集い」開催!

5月16日 阿蘇プラザホテル

熊本県テコンドー協会の前身である拳武会は昭和57年に樋口悦夫現協会会長が主宰した会で主に硬式空手道、テコンドーを行っていたが、平成9年に拳武会としての活動を終えた。その拳武会の創成期を支えた3名の指導者がここ1年あまりの間に他界し、その3名の冥福を祈る会が「拳武会OBの集い」としてこの程開かれた。会には故坂本繁幸氏、故田島慎一氏、故洞田貴博文氏の3名の道衣姿の写真が飾られ、工藤義明発起人代表挨拶のあと、樋口会長から故人に感謝状が贈られた。会には、拳武会で築立ったOBやテコンドー関係者43名が出席、在りし日の故人を偲び、懐かしいDVDの試写などもあり終始和やかな会となった。



※大会結果の詳細はホームページに掲載

MVPに渡辺雄二選手（熊本学園大）県学生選手権! 5月24日 熊本学園大学体育館

平成21年度として県協会主催の最初の大会となる第15回県学生選手権大会は、今回も熊本地区大学総合体育大会テコンドー競技と兼ねて開催した。今回は、運営全般を部への昇格を果たした熊本学園大テコンドー部が中心となり、県内3大学から4階級に25名の選手が出席して熱戦を繰り広げた。今回は、新ルールを意識してから後蹴りなどの回転系の技も多く見られテコンドーらしい蹴りの応酬が多く見られた。最優秀選手には、学園大の渡辺雄二選手が選ばれた。午後行われたサンドンデストーネメントには、大学生以外の選手も参加して会場は盛り上がりを見せた。

階級	1位	2位	3位
男子軽量級	渡辺雄二（学園大）	坂田憲紀（熊本大）	松本健吾（熊本大）
中量級	松嶋祐典（熊本大）	吉田浩平（熊本大）	廣瀬翔平（学園大）
重量級	キムヨンシウ（熊本大）	富井孝司（熊本大）	野口嘉津馬（熊本大）
女子合同級	星野梓子（崇城大）	西野由紀子（熊本大）	江藤美沙（崇城大）



熊本市テコンドー協会発足総会開催される!

5月24日 県民交流会館パレア



参加メンバー

熊本市テコンドー協会では、都市体育協会への加盟を推進しているが、この程熊本市内にある8つの道場、三大学の代表者が集まり正式に「熊本市テコンドー協会」として発足総会を開催した。初代会長として県協会会長の樋口悦夫会長が、副会長に河野朋浩竜田支部長、理事長に福永哲法上熊本支部長がそれぞれ就任した。今後、第1回熊本大会などを開催し来年2月、熊本体育協会への加盟申請を行う予定。

平成21年度加盟団体通常総会開催!

5月24日 県民交流会館パレア

本年度の加盟団体通常総会は、熊本県協会発足総会後に行われた。県協会加盟の24団体から代表者が出席し、約2時間に亘って事業報告、収支決算報告、事業計画、収支予算などが満場一致で承認された。本年度、協会参与に就任した鳥居正純氏、広報委員として岩下弘美氏がそれぞれ挨拶、協会を一丸となり盛り上げて行きますと力強く語った。

県選手5名がV!入賞4名 ONE オープン

5月31日 長崎市立鳴見台小学体育館

毎年、この時期に開催されるONEオープン大会、今年は九州地区を中心に大阪などからの選手も出場し例年以上に盛大に開催された。熊本県からは11名の選手が出席し5名が優勝、準優勝が2名、3位2名の好成績を残したが、県選手団監督として参加した西村紀幸県協会選手強化委員長は、九州地区は元来テコンドーの盛んな地域でありここ数年とくにジュニアのレベルが高くなってきて、県選手もより一層気を引き締めて行かなければ8月開催予定の九州大会では、上位への入賞も厳しいのではないかと警鐘を鳴らした。今後、夏季合宿など実施し、より一層の強化に努めるとのこと。

県選手結果（入賞者のみ）	
1位 森永修斗（阿蘇）	男子リトルJr 初級ウェルター・ミドル級
1位 山本悠奈（阿蘇）	女子リトルJr 初級フェザー級
1位 米田 優（阿蘇）	女子リトルJr 初級ウェルター・ミドル級
1位 本田真夏（阿蘇）	女子ユース上級フューリー級
1位 西村利愛（阿蘇）	女子ヤングJr 上級バムターライトウェルター級
2位 西村 勇（阿蘇）	男子ジニアス上級フューリー級
2位 中西美有（宇土）	女子ジニアス上級バムターライトウェルター級
3位 中西一将（宇土）	男子ヤングJr 上級ライトウェルター級
3位 本田雅華（阿蘇）	女子リトルJr 初級フェザー級

